

---

# ともだち

夢追い人

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ともだち

### 【Nコード】

N1384Y

### 【作者名】

夢追い人

### 【あらすじ】

突如ひらめいたので書き起こしてみました。

内容は読んでみてください。

\*戦闘などはありません。

自分が生まれたのはいつだろうか・・・

気づけば自分は生活兼仕事をしていて、人に見られないように働いていた。

見られないようにするのは嫌われているからだ。

自分たちの仕事は汚くて臭いため、汚れはきれいにできても臭いは残る。

たまに外に出れば見かけた大抵の人は顔をしかめ、こちらに関わろうとはしない。

そんなある日のことだった。

自分は元人間の魂が宿っているからか、他のやつらよりも強い我をもっている。

そのため、自分が主導になって何かをすることが度々ある。

今日は外へ出てみようとした。

最近雨が少なく乾燥していたため、水をもらえないかと考えたのだ。

いつもの自分たちを管理する人がいなくて、このままでは仕事に問題が起きる。

外に出ると一人の女の子が目に入った。

長くここで働いているが、見かけたことがなく、仲間によると新しく乗ってきて日が浅いそうだ。

向こうも自分に気づいたようで、表情を変えることなく近づいてきた。

彼女に水を求めると快く応じてくれ、後からついてきた奴らにも水を分けてくれた。

自分たちはそれから何度も彼女に会った。

時々話をし、聞こえてくる歌を聞いた。

彼女はパン屋で働いているそうで、時々倒れた誰かを運び込んでおり、ストーカーじみた男が通っているのを観察したりしていた。

ある日また管理人がいなくて困っていたので、彼女に助けてもらった。

帰って仕事に戻ろうとしたが、今まで気になっていたことがあったので聞いてみた。

自分たちは臭くないか？どうして助けてくれるのか？

彼女は正直に臭いといった。しかし、その匂いは誰かに害を為そうとして生んだのではないと、元は私たちが生んだ臭いであると、否定する理由はないと答えてくれた。

嬉しかった。涙が出るかと思った。思わず欲がでてさらに尋ねた。

自分とは友達なのかな？

彼女は認め合っている両者の関係をそう言うのであれば、と認めてくれた。

感情が爆発するかと思った。

他の世界では問題があっても友や家族ができたことをわかつてはいたが、ここでは今までこんな関係を築くことはできなかつたから。

自分はこの暗く狭い世界で一生を終えるのだと思っていたから。

そして、最後に尋ねた。

名前を。

この世界で生を受けて何よりも大切になるだろうあなたの名前を。

「 P・O・I・Sと申します」

自分たちは黒藻の獣。空を曳航する武蔵の下水処理役として働く意思共通生物である。

・・・『ほらいぞん ともだち』

(後書き)

ありがとうございました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1384y/>

---

ともだち

2011年11月17日08時21分発行